

主な野菜の主産地の状況と今後の生産・出荷の見込み等について

2012/4/2

	入荷量及び卸売価格 (東京都中央卸売市場 1/5~3/29)	現状と価格の見通し
はくさい	<p>円/kg 入荷量 卸売価格 平均価格 t</p>	<p>1 現状 茨城産は、春ものが遅れていることから出荷の谷間となっているが、今後は徐々に増加傾向となり、中旬には一気に増加する見込み。</p> <p>2 価格の見通し 上旬までは少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回り、その後は徐々に落ち着いてくる見込み。</p> <p>東京都中央卸売市場における入荷シェア(%) 4月 ①茨城(89) 5月 ①茨城(97)</p>
トマト	<p>円/kg 入荷量 卸売価格 平均価格 t</p>	<p>1 現状 熊本産は、2月の曇雨天による着果不良により、少なめの出荷の見込み。 栃木産は、2月の日照不足の影響により、空洞果が散見され下級品が多いことから、少なめの出荷量となっており、今後も少なめの出荷の見込み。</p> <p>2 価格の見通し 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。</p> <p>東京都中央卸売市場における入荷シェア(%) 4月 ①栃木(23)、②熊本(22)、③愛知(12) 5月 ①熊本(23)、②栃木(17)、③愛知(12)</p>
だいこん	<p>円/kg 入荷量 卸売価格 平均価格 t</p>	<p>1 現状 千葉産は、低温で生育が遅れ少なめの出荷となっている。今後、気温の上昇とともに生育が回復し、下旬からは出荷量が増加する見込み。</p> <p>2 価格の見通し 中旬までは千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。</p> <p>東京都中央卸売市場における入荷シェア(%) 4月 ①千葉(77) 5月 ①千葉(86)、②茨城(8)</p>

注1)卸売価格及び入荷量は、農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」による。

注2)平均価格は、野菜価格安定制度の指標価格であり、対象市場群(ブロック)における過去6カ年平均である。

注3)東京都中央卸売市場における入荷シェア(%)は、4月は関東農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」により、5月は前年実績である。